

国語科学習指導案

単元名 「自分の心情を豊かに表現しよう」
物語「星の花が降るころに」(安東みきえ/光村図書)

第1学年C組 於：1C教室
令和3年10月22日(金) 第3時限

—松本実践のねらい—

- 「考えを基に表現する場」で拡散的思考と収束的思考を働かせることが、本校国語科の育みたい資質・能力を育み、目指す生徒像を達成することに有効かどうかを授業での活動の様子や、付箋紙の記述、「清書」を見取ることで検証する。
- 収束的思考中についてのモニタリングとして「意見交流」の時間の最後に表現の仕方についての自分の考えの変化を付箋紙に記述させることと、次時に「座席表」を配布し、自分の表現の仕方を他者と比較させたり関連付けさせたりした後、適切な表現の仕方を考えさせ、表現し直させることが育みたい資質・能力を育むための手立てとして有効であったかを、「清書」と付箋紙を含む「足跡シート」の記述を見取ることで検証する。

第1学年C組 国語科学習指導案

令和3年10月22日（金）第3時限 1C教室

指導者 松本 哲廣

1 単元名 「自分の心情を豊かに表現しよう」

物語「星の花が降るころに」（安東みきえ／光村図書）

2 単元の構想

(1) 単元設定の理由

本単元で扱う「星の花が降るころに」には、巧みな比喩表現や情景描写、登場人物の心情を象徴的に表した表現が用いられている。「ひとり読み」や「読みの交流」の中で、場面の展開に沿ってこうした表現に着目しながら中心人物の心情やその変化を捉えさせることを通して、心情を豊かに表現するための工夫について自分の考えを形成させたいと考えた。

そして、形成した自分の考えを基に、比喩表現や情景描写、象徴的な表現を用いて文章を書かせることで、自分の考えをより確かなものにすることができると考えた。また、できあがった「下書き」を基に「意見交流」させることで、拡散的思考や収束的思考が働くようにし、友達がどのような表現の仕方であったか自分と比較し、検討させながら、より適切な表現の仕方がないかを考えさせたいと考えた。

このような考えから、「自分の心情を豊かに表現した文章を書く」ことを「言語活動」として本単元を設定する。今までの物語の学習では、登場人物の心情やその変化を、主に行動描写や会話に着目しながら学習を進めてきた。本単元では、そうした既存の知識に加え、比喩表現や情景描写、象徴的な表現に着目することで、心情をより豊かに捉えられることに気付かせたい。また、新たに習得した知識が、既存の知識と関連付いて構造化することで、自分の心情がより豊かに表現できるようになるように表現活動を進めていきたい。そこで本単元では、印象に残っていることや思い出に残っている出来事を思い出し、その時に自分がどんな思いだったかを学級の友達に伝えるという想定のもと学習を進める。自分が感じた喜怒哀楽を始めとする様々な感情を、どのような言葉で表現すれば他者に伝わるのかを考え、豊かに表現させたいと考えた。

(2) 本単元における教材と指導

本作品は、読み手と同じ中学生である私が主人公である。私には小学生の頃から仲のよい友達の夏実がいる。夏実とは中学に上がってもずっと親友でいようと約束していたのだが、何度かのすれ違いや誤解が重なるうちに、少し疎遠になってしまった。私は何とか関係を修復しようと試みるが、なかなかうまくいかない。

そんな中幼なじみの戸部君が現れ、いろいろな手段で私の心を和ませてくれる。戸部君とのやりとりの中で私は、幼いと思っていた戸部君の成長に驚く。

また、下校途中で思い出の公園に寄ったときのお婆さんとのやりとりや、ふいに見上げた銀木犀が古い葉を落とし、新しい葉を生やしながら生きていることを知ったことから、私は自分と夏実との関係に思いを巡らせる。こうした話を読み進める中で、読み手は自分と友達との関係性や自分の生き方について考えることができる作品である。

また、登場人物の心情を表す描写の特色としては、大きく3点の事柄が挙げられる。

1点目は、「雪が降るように音もなく落ちてくる」「毛穴という毛穴から魂がぬるぬると溶け出してしまいそうに」「音のないこま送りの映像を見ているように」などの巧みな比喩表現が使

われていることである。

2点目は、「貧血を起こしたときに見える白々とした光景によく似ている」「かたむいた陽が葉っぱの間からちらちらと差し、半円球の宙にまたたく星みたいに光っていた」などの情景描写が使われていることである。

3点目は、この物語において「銀木犀」が中心人物の心情やその変化、対比される人物との関係性を表す象徴として用いられていることである。物語の冒頭部分では、「これじゃ踏めない、これじゃもう動けない、と夏実は幹に体を寄せ、二人で木に閉じ込められた、そう言って笑った。」という描写があったり、私のポケットの中には夏実との思い出である銀木犀の花がお守りのように入っていたりする。いっぽう、物語の最後の部分では、「大丈夫、きっとなんとかやっっていける。私は銀木犀の木の下をくぐって出た。」と描かれている。人物の心情の変化と共に、描かれる銀木犀も描写のされ方が変化し、中心人物である「私」の心情が象徴的な表現を用いて豊かに表現されている。

このように本作品は、登場人物の心情が様々な表現を用いて描かれており、こうした表現に着目することで、人物の心情を豊かに表現するための工夫について、自分の考えを形成することに適した作品であるといえる。

本単元の学習は、次の流れで行う。

①「はじめの時間」	「言語活動」として「印象に残っている出来事や思い出に残った日の出来事について自分の心情を豊かに表現した文章」を書くことを知らせる。その後、人物の心情を捉えるための既存の知識の確認をさせる。最後に、本文を通読し、はじめの考え（印象に残った中心人物の心情を表す描写とその理由について）を付箋紙に記述させる。
②③「ひとり読み」	人物の心情を表す描写に着目させ、中心人物の心情を捉えさせる。
④「読みの交流」 1	場面1（ひとり読みシート1 L 1～ひとり読みシート2 L 6）の「私」の心情を表す描写について交流させ、捉えた内容を付箋紙に記述させる。
⑤「読みの交流」 2	場面2（ひとり読みシート2 L 7～ひとり読みシート2 L 44）の「私」の心情を表す描写について交流させ、捉えた内容を付箋紙に記述させる。
⑥「読みの交流」 3	場面3（ひとり読みシート3）の「私」の心情を表す描写について交流させ、捉えた内容を付箋紙に記述させる。
⑦「読みのまとめ」	「ひとり読み」や「読みの交流」で形成した「私」の心情を表す描写と、人物の心情を豊かに表現するための知識について整理し、まとめさせる。
⑧「下書き」 1	「考えを形成する場」で身に付けた知識を基に、文章を書く際に生かしたい知識をまとめさせる。また、どんな場面の自分の心情を文章に表そうかを考えさせ、「下書き」を行わせる。
⑨「下書き」 2	前時に書いた「下書き」を完成させる。
⑩「意見交流」 (本時)	互いの文章の分析を行わせ、自分の心情を表す描写の仕方について、良さや改善点を伝え合わせる。

⑪「清書」	自分の表現の仕方を他者と比較させたり、関連付けさせたりした後、適切な表現の仕方を吟味させ、表現し直させる。
⑫「まとめの時間」	単元のまとめとして「足跡シート」に学習過程や思考方法を振り返らせ、記述させる。

3 単元の指導計画（後掲資料①）

4 本時の指導（第10時）

(1) 指導の意図

本時は、前回までで各自が書いた「下書き」を友達と読み合い、自分の心情を表す描写の効果について、良さや改善点を伝え合う「意見交流」を行う場である。ここでは、「比喩表現や情景描写、象徴的な表現などを用いて自分の心情を豊かに表現することができるか」という観点に沿って意見交流を行わせる。

まず、前時までの学習を振り返り、ここまでの学習で心情を豊かに表現するための知識として、比喩表現や情景描写、象徴的な表現などに着目するとよいことや、「下書き」を書く段階で、どんな表現を用いて心情を表そうとしたかを確認する。

次に、ペアで「下書き」を分析の観点に沿って、読み合わせ、「意見交流」を行わせる。「意見交流」では、友達が用いた心情を表す表現がどのように伝わったのか具体的な記述を基に、「意見交流シート」を用いて互いに伝え合わせる。その後、交流した意見を基に、自分の考えと比較し検討させながら、別の表現の仕方は無いか考えさせ、必要に応じて表現し直させる。これをペアを変えて繰り返す（「拡M」）。

次に、ペアでの「意見交流」で交流したことを学級全体で交流することで、表現の仕方について吟味させる。「意見交流」の時間の最後には、友達との交流の中で取り入れたいと思ったことを付箋紙に記述させ、発表させる（「収M」）。

このように、分析の観点に沿った「意見交流」が行われることで、言葉のもつ意味を再度考え、次時の「清書」でよりよい表現を用いて文章を書いたり、「まとめの時間」で習得した知識について改めて精緻化と体制化が行われ、より汎用性のある知識を習得することにつながったりすると考えた。

(2) 本時の目標

思	「意見交流」や推敲を通して、自分の心情を表す描写を工夫した文章表現の工夫について自分の意見を記述している。
態	「意見交流」や推敲を通して、自分の作品を見直し、必要に応じて改善しようとしている。

(3) 準備物：教師…意見交流シート、付箋紙 生徒…下書きシート

(4) 指導過程

*：指導上の留意点 評：評価規準

時間	主な学習の流れ	指導上の留意点 及び 評価の観点
3	1 前時までの学習を振り返る。 * 1, 2	* 1 これまでの学習で、心情を豊かに表現するための知識として「比喩表現」「情景描写」「象徴

2	2 本時の学習内容を知る。	<p>的な表現」に着目し、自分の考えを形成してきたことを確認する。</p> <p>* 2 各自自分がどんな表現を用いて心情を表現しようとしたのかを振り返らせる。</p>
<p>分析の観点に沿って「意見交流」を行い、友達の実現方法の良さをみつけたり、より適切な表現方法がないか改善策を考えたりしましょう。</p>		
25	<p>3 ペアで「意見交流」を行う。 (「拡M」) (横のペア同士で12分行い、その後、前後のペア同士で12分行う。)</p> <p style="text-align: right;">* 3, 4, 5</p>	<p>* 3 比喩表現や情景描写、象徴的な表現に着目して互いの「下書き」を読むよう指示し、その時の心情が効果的に表されているかを評価するよう伝える。</p> <p>* 4 意見交流シートには「下書き」のどの部分が良かったかや、改善点はどこなのか行数を示しておくようにし、全体的な印象で評価するのではなく、書かれている記述を基に助言ができるようにする。また、良いと思った表現についても、意見交流シートにメモしておくようにさせる。</p> <p>* 5 交流が終わったペアには別の表現の仕方は無いか考えさせ、必要に応じて表現し直すよう促す。</p>
<p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「僕の気持ちは夏の太陽のようにあつかった」という比喩表現から、試合に向けて気持ちが盛り上がり、一生懸命に取り組んでいることが分かります。 ・ 「その時、ふと空を見上げると雨がぽつぽつと降ってきた」という情景描写が描かれていますが、それに関連した悲しい心情を表す言動が書かれていないので、加えた方が良いと思います。 ・ 新しいスパイクを買ってもらったことで、新鮮な気持ちでサッカーに取り組んでいる様子がピカピカなスパイクに象徴されています。 		
10	4 学級全体で交流をする。* 6, 7	
<p>ペアで意見交流した中で、印象に残った表現について学級全体で交流をしましょう。</p>		
		<p>* 6 発表された内容にはどのような表現方法が用いられていたか、またどのような心情が伝わる</p>

のかを考えながら聞くよう促す。

*7 必要に応じて、どのような表現方法が用いられていたかを問い返し、生徒たちの考えを確認し、整理させる。

<予想される生徒の反応>

- ・ 発表された描写には、比喩表現が使われていました。「滝のように涙が流れた」という比喩表現を用いることで、Aさんがとても悲しかったことが伝わります。
- ・ 発表された描写には、情景描写が使われていました。「その日は激しく雷が鳴っていた。」という情景描写と「眉間にしわを寄せた」という行動描写からBさんがとても怒っていたことが伝わります。
- ・ 発表された描写には、象徴的な表現が使われていました。鉛筆の芯が尖ったり、丸くなったりする「鉛筆の芯の変化」を象徴として用いたことと「よし頑張ろう」や「私なんて努力しても無駄なんだ」という会話から、Cさんが勉強に対してやる気になったり、そうでなくなったりすることが伝わってきます。

5 5 ペアや学級全体での「意見交流」を通して、取り入れたいと思った表現の仕方について、付箋紙に記述する。（「収M」） * 8

* 8 ペアや学級全体での「意見交流」を想起させ、自分の心情を豊かに表すことができる表現の工夫について考えたことを振り返らせ、自分の考えを付箋紙に記述させる。取り入れることがなかった生徒にはその理由を書くよう伝える。

5 6 付箋紙に記述したことを全体に発表する。（「収M」） * 9

* 9 一部の生徒に形成した考えを発表させ、それを聞き合うことで、自分と他者の考えを比較したり、関連付けたりできるようにする。

☞ 「意見交流」や推敲を通して、自分の心情を表す描写を工夫した文章表現の工夫について自分の意見を記述しているか。

☞ 「意見交流」や推敲を通して、自分の作品を見直し、必要に応じて改善しようとしているか。

後掲資料① 単元の指導計画（12 時間完了）

単元名 1年「自分の心情を豊かに表現しよう」（「星の花が降るころに」安東みきえ／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	比喩表現や情景描写，象徴的な表現など心情を表す文章表現の文脈上の意味を理解することができる。
思	比喩表現や情景描写，象徴的な表現など心情を表す文章表現の文脈上の意味についての自分の考えを形成し，文脈にふさわしい言葉を適切に用いて表現することができる。
態	「読みの交流」や「意見交流」に意欲的に参加し，友達のを必要に応じて取り入れ，自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（自分の心情を豊かに表現する）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り，「登場人物の心情」を捉えるための既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて，登場人物同士の関係を表す描写や比喩や情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分や文について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて，登場人物同士の関係を表す描写や比喩や情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分や文を捉え，心情を豊かに表現するための自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で，登場人物同士の関係を表す描写や比喩や情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分や文を捉え，心情を豊かに表現するための自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して，友達のを捉えた上で，必要に応じてそれを取り入れ，自分の考えを形成しようとしている。	
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み，友達のをと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて，登場人物同士の関係を表す描写や比喩，情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて，登場人物同士の関係を表す描写や比喩，情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分のいずれかを捉え，心情を豊かに表現するための自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で登場人物同士の関係を表す描写や比喩，情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分のいずれかを捉え，心情を豊かに表現するための自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して，必要に応じて友達のを取り入れ，自分の考えを形成しようとしている。	
		読みの交流1 ○ 場面1の心情を表す描写についての「読みの交流」を行う。 ○ 場面1において印象に残った心情を表す描写についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	④					
		読みの交流2 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み，友達のをと比較したり，関連付けたりする。M	⑤					

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場面2の心情を表す描写についての「読みの交流」を行う。 ○ 場面2において印象に残った心情を表す描写についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 					
	<p>読みの交流3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 場面3の心情を表す描写についての「読みの交流」を行う。 ○ 場面3において印象に残った心情を表す描写についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 	⑥				
	<p>読みのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 「足跡シート」に自分の考えをまとめ、「登場人物の心情を豊かに表現するための工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM 	⑦	方法	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容
考えを基に表現する場	<p>下書き</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現の際に生かした知識を「足跡シート」に記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、文章の「下書き」をする。拡M 	⑧ ⑨	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、登場人物同士の関係を表す描写や比喻や情景描写などの心情を表す文章表現や象徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、登場人物同士の関係を表す描写や比喻や情景描写などの心情を表す文章表現や象徴を用いて清書を書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の作品を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	<p>意見交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や他者の文章の「下書き」について気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要 	⑩				

収束的思考を働かせる場面	に応じて表現し直す。 拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。 収M				
		B	○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、登場人物同士の関係を表す描写や比喩、情景描写などの心情を表す文章表現や象徴のいずれかについて理解している。	○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、登場人物同士の関係を表す描写や比喩、情景描写などの心情を表す文章表現や象徴のいずれかを用いて清書を書いている。(書)	○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、作品を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	清書 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 収M ○ 文章の「清書」を行う。	⑪	方法	・清書 ・足跡シート	・清書 ・足跡シート
まとめの時間 ○ 「足跡シート」を記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。 拡・収RM	⑫				

後掲資料② 評価指標

表現活動の評価指標		
①	比喻表現を用いて自分の心情を表現できているか。	1
②	自分の言動と情景描写を関わらせて心情を表現できているか。	1
③	自分の言動と象徴的な表現を関わらせて心情を表現できているか。	1
④	文章量が適切であり、誤字脱字、文法的な誤りがほとんどない。なおかつ字形が整っている。 ※ 「文章量が適切」とは、シートの8割程度以上埋まっている状態。 ※ 「字形が整っている」とは、判読に支障がない状態。	1

評価については、上記に掲げた評価指標を用いて行っていく。3ポイント以上の場合「A」とする。1ポイント以下の場合「C」とする。

後掲資料③ 「星の花が降るころに」学びの足跡シート

一年組 番号前

◎ 単元の課題

物語「星の花が降るころに」を読み、登場人物の心情を豊かに表現するための工夫について自分の考えを形成し、自分の心情を豊かに表現した文章を書こう。

◎ 単元を始めるにあたって

--

◎ 考えを形成する場

はじめの考え	読みの交流1 場面1で印象に残った描写
--------	------------------------

読みの交流2 場面2で印象に残った描写	読みの交流3 場面3で印象に残った描写
------------------------	------------------------

◎ 「読みのまとめ」

--

- ◎ 考えを基に表現する場
- 「読みのまとめ」を参考に、文章を書く際に生かしたい知識を書こう

- 下書き〜意見交流（別紙）

	意見交流を終えて
--	----------

- 清書（別紙）
- ◎ まとめ時間

<p>A どのような知識を習得したか</p>	<p>B 習得した知識がこれまでの学習や生活とどのように結びつくか</p>	<p>C 習得した知識が今後どのような場面でいかしていきそうか</p>
<p>① 自分の「下書き」と「清書」に点数をつけ、その点数の理由と点数が変化した理由を書こう。</p> <p style="margin-left: 40px;"> ・ 下書き 〔 〕 点 ・ 清書 〔 〕 点 ・ 点数の理由と点数が変化した理由 </p> <p>② 自分の思考を5段階で振り返ろう</p> <p>・ 「下書き」「意見交流」を通して、自分の表現と他者の意見を比較し検討しながら、別の表現の仕方はないか考えることができたか。〔 5・4・3・2・1 〕</p> <p>・ 「意見交流」「清書」を通して、適切な表現の仕方を吟味し、表現することができたか。〔 5・4・3・2・1 〕</p>		

後掲資料⑤ 「星の花が降るころに」意見交流シート

◎ 友だちの文章を読んで、良かった点や改善点をメモにとりましょう。また、印象に残った表現についてメモしておきましょう。
※ ○の中は1〜3の点数を書きましょう。文法的な誤り・誤字・脱字は直接書き込みましょう。

さん	さん
○分析の観点 ア 比喻表現を用いて自分の心情を表現できているか。	○分析の観点 ア 比喻表現を用いて自分の心情を表現できているか。
イ 自分の言動と情景描写を関わらせて心情を表現できているか。	イ 自分の言動と情景描写を関わらせて心情を表現できているか。
ウ 自分の言動と象徴的な表現を関わらせて心情を表現できているか。	ウ 自分の言動と象徴的な表現を関わらせて心情を表現できているか。
★その他	★その他

